

平成17年度 コミュニティ助成事業で佐白自治会、佐白町自治会に除雪機及び公園遊具の整備を行いました



今年度、布勢地区の佐白地内において、地元自治会の負担金と財団法人自治総合センターからのコミュニティ助成金を活用し、除雪機と佐白公園内の遊具を整備しました。

この助成金は、宝くじの収入を財源としており、地域コミュニティの健全な発展を図るためのものです。

今回の整備により、冬期間の積雪時における生活道路の確保や子供たちの健康増進が図れ、今後、世代間の交流等を通じより一層コミュニティ活動が活発に行われることが期待されます。



佐白公園に整備された遊具



除雪機

島根デザイン専門学校と併設する奥出雲工芸房の卒業・修了証書授与式が三月十一日に行われました。この専門学校では、二年間のカリキュラムで陶芸や様々な分野のデザイン技術を学ぶことができ、全国から芸術の道を目指す学生が集まります。式では、卒業生全員に卒業・修了証書が授与された後、小林学校長の式辞、来賓を代表し岩田町長の祝辞などが行わ

島根デザイン専門学校・奥出雲工芸房で卒業・修了証書授与式



校旗の授与を受ける各校の代表者

学校のシンボル

町内全小中学校に校旗を授与

奥出雲町立小中学校校旗授与式が三月九日行われ、真新しい校旗が岩田町長から各校の代表者に授与されました。全校を代表して仁多中学校の横路校長から「校旗は学校のシンボルであり、子供たちの母校を愛する心、ふるさとを愛する心を形成してくれます。今回各校に頂いた校旗は、未永く大切に使用してほしい」とお礼の言葉がありました。

今後、卒業式、入学式など学校の諸行事に使われます。今回授与された十三本の新校旗のもと、町内全ての学校で勉強にスポーツに励み立派な校風を築いてくれることでしょう。



答辞を述べる永原さん

出雲広域農業共済組合仁多町支部 平成16年度任意共済優秀地区 表彰を受賞

この度、出雲広域農業共済組合仁多町支部が島根県農業共済組合連合会から平成16年度任意共済優秀地区として表彰されました。

仁多町支部は、町の基幹産業である農業に関わる建物、農機具などの共済事業の普及、推進また地域の連帯感の向上など農業の振興、発展に多大の貢献をされました。おめでとうございます。



第56回 島根県統計大会

高尾 富美さん(大呂) 水岩田 仁さん(中村)が表彰

島根県統計協会主催による第56回島根県統計大会が、2月17日に松江市において開催されました。

この大会の席上で、長年の統計活動が評価され、高尾富美さん(平成8年から通算9年間で27回統計事務に従事)に県知事からの感謝状が、水岩田仁さん(昭和55年から通算11年間で11回統計事務に従事)に島根県統計協会会長表彰がそれぞれ贈呈されました。



受賞された高尾さん(左)と水岩田さん(右)

感動 再び

映画「砂の器」上映会

映画「砂の器」が昨年、松竹映画創業百周年の記念事業として、数ある名作の中からデジタルリマスター版として再編集され、その記念上映会が二月二十五日、カルチャープラザ仁多において行われました。松本清張原作「砂の器」は、ハンセン病に対する偏見や差別を通じて人間の尊厳や愛の深さを描いた不朽の名作で、映画は一九七四年に公開され、邦画史に残る名作として多くの人々に深い感銘を与えました。



開会の挨拶を行う藤原実行委員会会長

昭和四十九年には丹波哲郎、緒形拳、平成十八年には渡辺謙、赤井英和などの有名俳優が来町し現地口ケも行われました。現在では、ロケ地は観光ルートに組み入れられ、連日多くの観光客が訪れています。上映会には、町内外から約三百八十人が集まり、日本最先端の高品質なデジタル画像で鑑賞しました。



上映会後に行われた講演会の様子

佐々木さんは、自身の体験をもとに「病気のため満足に働けないつらさはありませんが、支えてくれる人も多くありました。与えられた宿命を力一杯生きることが大事」と自分の力で一生懸命生きることの大切さや生きることの喜びを訴えられました。